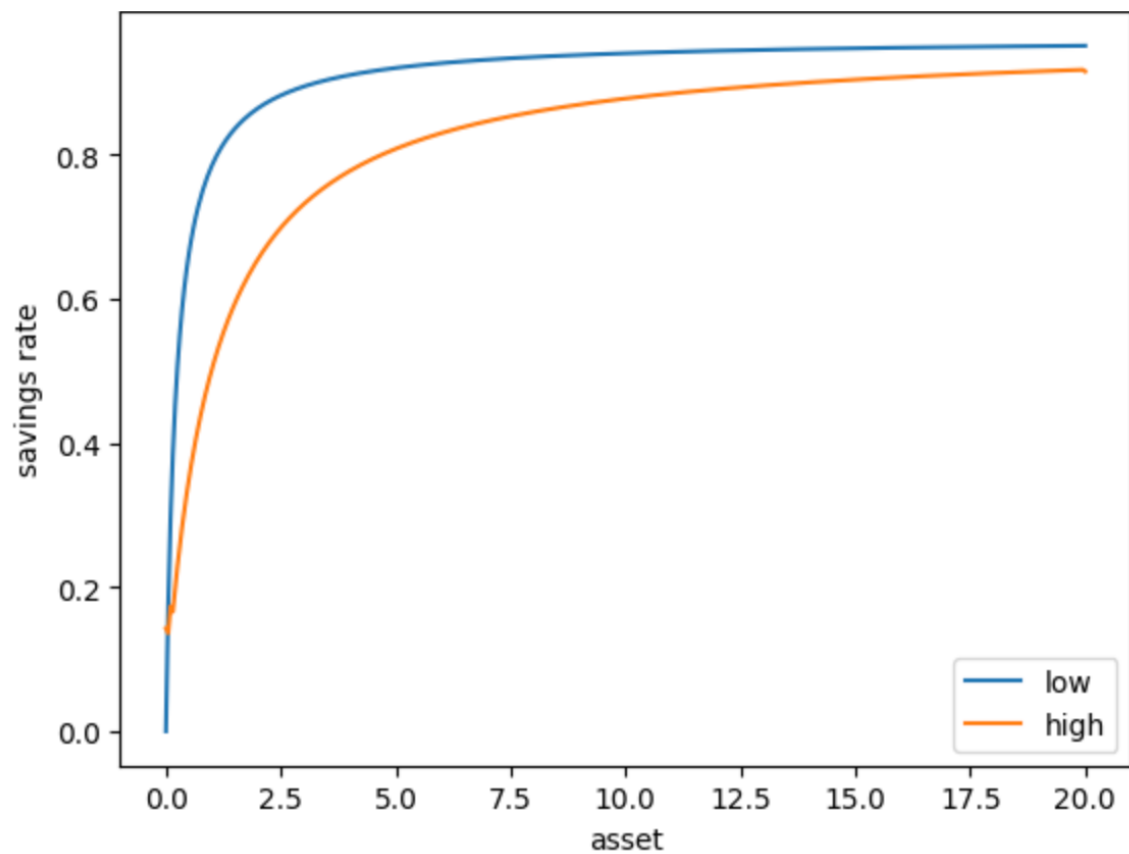


定量マクロ経済学 後半 最終課題

22207978 栗本朝惟

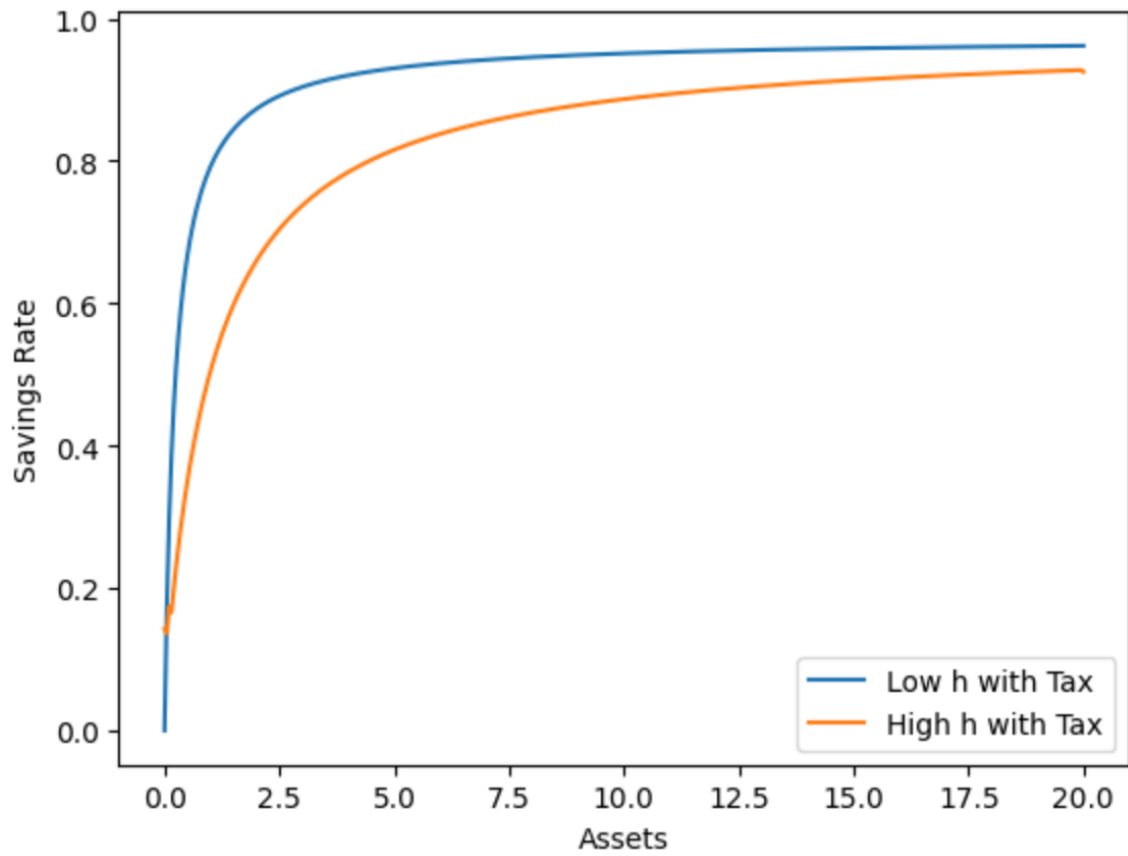
1.



増加関数である。

「理由」資産が増えると資産からの利子所得も増加する。これにより、消費を維持しつつ貯蓄に回せる金額が増え、結果として貯蓄率が高くなるからだ。

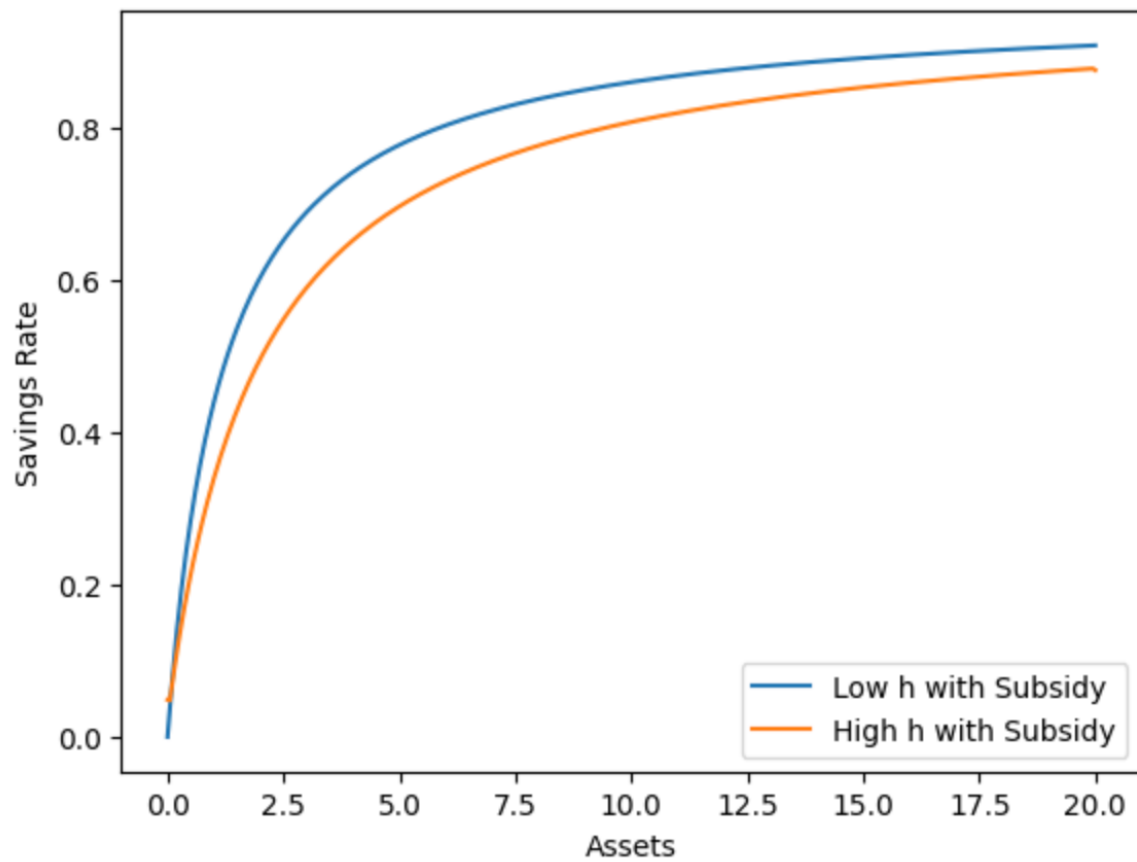
2.



1 と比べて、貯蓄率は低下している。

「理由」 資本所得税が導入されると、家計の資産から得られる利子所得が減少する。利子所得の減少により、家計は貯蓄から得られる将来の所得が減少するため、貯蓄のインセンティブが低下し、貯蓄率が低下する。

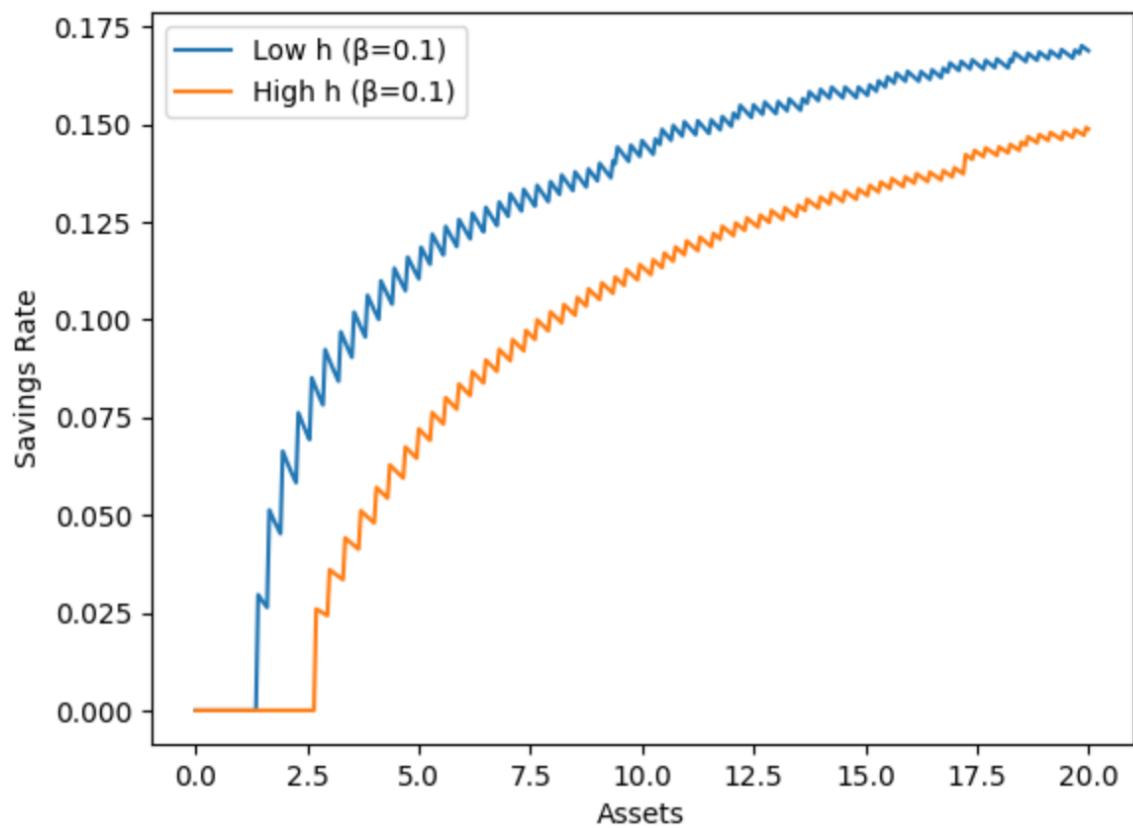
3.



1 と比べて、貯蓄率は低下している。

「理由」補助金の導入により、家計は追加の所得を得ることで、消費を増やす余裕ができる。補助金が消費に回されるため、全体的な貯蓄率は低くなる。

4.



1 と比べて、貯蓄率は低下している。

「理由」 β は時間選好率を表し、1 では高い β により将来の消費を重視し、貯蓄率が高くなる。4 では低い β により現在の消費を重視し、貯蓄率が低くなる。